

9月例会＝北条氏五代の盛衰の歴史を偲んで

石垣山一夜城跡の史跡めぐり

2013年9月7日(土) 天候：曇りのち晴れ 約28,000歩 約15km

集合：小田原駅9:45 出発 10:00

コース：小田原駅・・・小田原城・・・小田原漁港・・・石垣山一夜城跡・・・入生田駅
生命の星・地球博物館・・・稲葉一族の墓・・・荻窪用水・・・小田原駅

参加者：吉野L 計38名 (会員35名 山の会2名 一般1名)

長年古城跡めぐりが趣味の一つの私には、以前から行きたかった石垣山一夜城跡ということで参加しました。そこで城めぐりの相方である島田さんに声を掛け、遠路「我孫子」から一般参加してもらいました。朝の小田原駅では涼しさも感じられる陽気でしたが、小田原漁港で小休止する頃には徐々に気温も上がり始め一夜城跡の登城口あたりからは、青空ものぞき蒸し暑さが戻ってきて汗が吹き出てくるほどでした。一般コースのつもりで参加した私には、結構アップダウンがあって距離の割には健脚コースのように感じられた中身の濃い例会でした。

レポート：小島



朝の改札口前。早めに着いて皆さん時間を持て余し気味のようです。



城内に入るとさすがに涼しいですね。



佐藤伊さんによるストレッチ。皆さんバラバラですよ・・・



吉野会長からコースの説明です。



西行さん。5年ぶりの参加です。



我孫子から参加の島田さん。



藤沢山の会からも2名参加。



コースガイドはお任せを。



小田原城の元は大森氏の居城であったが、北条早雲が計略を使い奪い取ったと云われています。
中世のヨーロッパに残る城郭都市のような総構えとなっており、敵にとっては攻めづらい縄張りといえます。



小田原文学館。



奥に北村透谷の碑があります。





庭の彼岸花です。



移築された尾崎行雄邸。



白秋童謡館。



コース脇の寺にあったお地藏さん。



いよいよ早川に出ました。



鮎釣りでしょうか。



欄干で一休み。



小田原漁港までもうすぐです。



早川河口のインターチェンジ。



小田原提灯を模した灯台を前に釣りとは羨ましい。



皆さん暑さでややバテ気味のようです。

※童謡「おさるのかごや」にも登場する小田原提灯は、旅人の携帯に便利のようにたたんだ時に胴の部分が蓋に収まるように作られた江戸時代の人気商品だったそうです。通販でもあったら製造が追いつかなかったかも？



こんな所でスケッチとは、いいですね。



この漁港は、元の陸地を掘り込んで整備した全国でも珍しい漁港で、県下で最も大きな第3種漁港です。



「すき家」の看板が目障りなんですけど...



この1.7kmが曲者でした。



いよいよ登城路です。



「出世道」。ここを登ると出世するそうです。でも皆さんもう十分出世してこられたように見えますが...



出世道から見る小田原城。やや霞んでいます。



ここで小休止。



今日は熊島さんがゴミ当番？



まだまだ先がありますよ。頑張ってください！



百日紅が目を楽しませてくれま



だんだんと皆さん俯き加減になっています。



やっと到着しました。



ここを上れば昼食場所です。





食後のデザート、来ないかな～。



昼食後北展望台で。井戸曲輪に向かわない人はここには写っていません。



井戸曲輪に向かいます。



ここが井戸ですが、熊島さんへびでも？



この急坂を上下して水汲みなんて・・・

城の縄張りを考える上で、最も重要な点はいかに水を確保できるかにつきます。現代のように探知機やボーリング機械がない時代、果たしてどのように水脈を見つけたのでしょうか。むろん第一には谷筋を流れる僅かな水を貯めて利用する方法が安直ですが、防御上の地形も考慮する必要があるので難しかったようです。人間は水がなくては生きていけません「アルプスの天然水」とか、「名水百選」とか・・・美味しい水が手軽に飲める現代人は先人の苦勞を考えて、もっと水を大切にしたいものですね。但し「末期の水」だけは、私はまだ飲む気にはなりません！



二の丸跡にて。久々の 30 人超えでカメラを持つ手が思わず震えました！ でもピントは大丈夫ですから…



いたる所に瓢箪が…



市内は霞んでよく見えません。



秀吉の気分？の清水さんです。



物見台。ここで秀吉と家康が“連れシヨ”をしたとか…



いずれが秀吉・家康か。天下を取った気分はいかが？

小田原城攻防戦は、北条方 6 万に対し秀吉方 22 万で攻めたそうですが、その内 14 万 8 千がこの一夜城周辺に布陣しました。この城は僅か 80 日間で造られたといわれています。中世の城は殆どが土塁や僅かに自然石を積んだ構造で、高い山の上に築いたものですが、一夜城は東国で初の総石垣を積んだ城です。この戦いで北条氏は五代 100 年の幕を閉じたわけですが、やがて時代は関が原の戦いへと移っていくことになります。



ここにも瓢箪。



あのヨロイズカファーム。高そう！



お二人さん、ここで早くも一杯ですか？



築城には早川石が使われたそうです。



今度は下りですが、つま先に負担が...



薄暗い道を行います。



切り出された早川石には刻印が刻まれているようですが、風化したのかハッキリとは読み取れませんでした



下りに疲れて道路端で休憩。



山の斜面にはミカン畑が連なっています。

ここ小田原のミカン は 200 年ほど前、江戸の豪商紀伊屋文左衛門が紀州よりミカンの苗木を運んできたことに始まります。温暖な気候に恵まれて品種改良や栽培技術の進歩により、甘く美味しいミカンが生産されています。



サービスショットです。自分にもこんな時期が・・・なかった！



水分補給。良い子は順番に並んで買ひましょう！



地球博物館。ここで吉越さん合流。



チョットぶりっ子？お元気でなにより。



後半のウォークめざし出発です。



湯本方面です。カマボコの看板が・・・



入生田駅の下を通ります。



ここで小田原直行組と別れることに。



稲葉一族の墓所、長興山・紹太寺へ向かいますが・・・



この長い階段、360段あるそうです！登らない組は下で。



ここから草むした道になります。



透天橋は石造りでした。



往時は隆盛を誇っていたようです。



稲葉一族の墓です。春日の局の墓もあります。 何となく暗く寂しい場所ですが・・



崇り？まさか。転んだ方が・・・



長興山の枝垂桜です。



季節には見事でしょうね。



下で待っていた留守番組と合流しました。



西行さん、再入会の手続き中。



疲れも見せず出発します。



地元の方の温かな気持ちが伝わります。





かの山縣有朋が自分のために引いた水道とは・・・



荻窪用水から分流したそうです。明治は遠くなりにはけり。



後で見たらここは立ち入り禁止の看板が・・・



荻窪用水の出口に着きました。



トンネルを抜ける用水。



里山コースのような道を登ると・・・



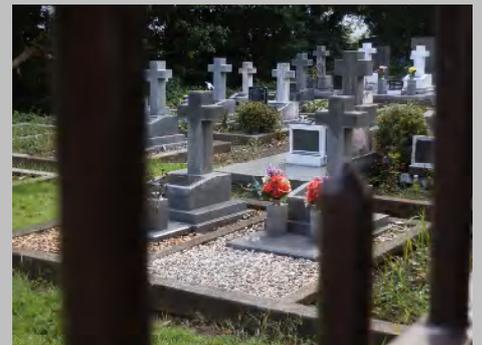
眼下には小田原厚木道路が走っていました。



実はこの道、人様の庭経由でした！？



西口まであと僅かになりました。



小田原カトリック教会の墓地です。



小田原城外郭の大土塁。



今にも鎧武者が出て来そうな道です。



まるで横浜山手のような坂道。



お疲れ様でした。6時間以上かけてやっと到着です。

※ 小田原駅にてまたの再会を約して解散。アフター組はこの後「サクラ水産」にてお待ちかねのビールが待っていました。しかし待っていたのはビールだけではなく、入生田で別れた小田原直行組がすでに席を占めていました！乾杯の後、飲んだビールの味は格別でしたが、ここでトラブル発生。愛機の電圧が下がったため、フラッシュが旨く連動せず一部ぼやけて写ってしまいました。そこでこの際、公平を考えて写真は掲載しないことにしましたのでご了承下さい。折角重いグラスを持ち上げてポーズをとっていただいた皆さん、この借りは次回“倍返し”とさせていただきます。